

令和元年度

監査結果報告書

広陵町監査委員

地方自治法第199条第4項に基づく定期監査結果

1 定期監査執行期日及び監査の対象

監査年月日	監査の対象
令和元年10月9日	西幼稚園・西第二幼稚園
令和元年10月10日	住民課・北小学校・東小学校・東小学校附属幼稚園
令和元年10月17日	真美ヶ丘第一小学校・真美ヶ丘第一小学校附属幼稚園・南保育園・北かぐやこども園
令和元年10月21日	広陵中学校
令和元年10月24日	真美ヶ丘第二小学校・真美ヶ丘第二小学校附属幼稚園・税務課・保険年金課・図書館
令和元年10月28日	議会事務局・上下水道業務課・上下水道施設課・会計課
令和元年11月5日	西小学校・真美ヶ丘中学校・クリーンセンター業務課・新清掃施設建設準備課・文化財保存課
令和元年11月7日	総務課・中央公民館・生涯学習スポーツ課・給食センター協議会・環境・安全安心課
令和元年11月11日	都市整備課・用地開発課・地域振興課
令和元年11月12日	けんこう推進課・社会福祉課・こども課・認定こども園準備室・介護福祉課
令和元年11月14日	企画政策課・秘書人事課
令和元年11月22日	教育総務課・学校支援室

2 監査の場所

広陵町役場及び各出先機関

3 監査の方法

監査対象の各課（かい）において、令和元年度における事務事業及び予算の執行状況について提出された監査資料に基づき監査を実施した。

併せて、関係書類及び帳簿等の処理方法について審査を実施するとともに、担当課（かい）長及び担当者から事情聴取を行った。

4 監査の結果

令和元年度上半期の予算の執行については、概ね適切に執行されている。

しかし、10月からの消費増税を見越した事業の早期着手や物品の事前購入については考慮されていない部署が見受けられた。

また、執行時期について、執行計画どおりの執行率であると説明をいただく部署が大半であるが、基となる執行計画自体を見直す必要があると考えられるところも見受けられた。補助団体への補助金交付については、例年同様の申請内容を受け、機械的に処理されているものが多く、申請時に内容の精査を行う、請求時に領収書等の根拠資料を確認するなど、審査体制の強化を図られたい。

職員配置については、若い職員が増えたことでアンバランスな構成の課が幾つか見受けられる。又、事務の引き継ぎや習得に関して課題の多い課も多く、課内での職員の指導体制に懸念を感じる。既存事務の改善については、積極的に取り組む姿勢が見受けられた。今後は、費用対効果の薄い事業の縮減にも取り組んでいただきたい。

5 監査意見

○ 秘書人事課

人員の不足が懸念される。精神的な不調により休業する職員も多いとのことであるが、ストレスチェック制度の充実だけでは対応しきれない部分が多く、労働環境改善への積極的な取り組みが今後もさらに懸念される。

研修の充実について、積極的に取り組む姿が伺える。研修の内容について

は、フィードバックを積極的に行い、更なる充実に努められたい。

人員配置について各課から様々な意見を伺ったところではあるが、住民ニーズを見極めながら、適切な配置に努めていただきたい。

歳出の執行については、適正に処理されており、特に指摘事項はなかった。

○ 企画政策課

地域担当職員制度について、職員の約半数が町外のものでありながらも、適切な人員配置を考慮されていると見受けられる。

一方で、コミュニティカルテについては、区・自治会によって温度差があるように感じられるが、職員のモチベーションによる差異とならないように努めていただきたい。

また、各課が保有する又は地域担当職員が知りえる、地域での協力者やボランティア等、行政に対して積極的に協力していただける方のリストを作成することで、情報の共有や人材の確保を図っていただきたい。

課内での人事評価において、時間外勤務時間数をひとつの指標とする等、働き方に対する工夫が見られた。

歳出の執行については、適正に処理されており、特に指摘事項はなかった。

○ 総務課

今般の議会にて議案訂正等に係る指摘事項が見受けられたが事務を総じる課として、遺漏なきように全庁的なチェック体制や管理体制の強化に努めていただきたい。

財政面については、ここ数年単年度赤字が続く状態であり今後の運営について懸念される。担当課として、財政規律を保つよう努力されたい。

歳出の執行については、適正に処理されており、特に指摘事項はなかった。

○ 税務課

横領といった不正な事務執行についてのチェック体制も整備されていた。今後も課税誤りや徴収漏れのないように十分検証されたい。

また、例年時間外勤務が多くなる時期があるが、徴収担当とも協力し、平準化に努めていただきたい。

補助団体への補助金交付については、用途を詳細まで確認する等、審査体制の強化に努めていただきたい。その他の執行については、適切に執行されており、特に指摘事項はなかった。

○ 会計課

備品管理について管理体制を構築し、新規登録及び廃棄処分の事務処理を適切に行えるよう努力していただきたい。

現金や通帳、その他重要書類の管理について特に問題はなかったが、引き続き資金を適正に運用管理するよう要望する。

歳出の執行については、適正に処理されており、特に指摘事項はなかった。

○ 社会福祉課

策定された「地域福祉計画」に基づき、各課で取り組むべきことを周知し、全庁的な取り組みとしていただきたい。

手話言語条例の施行に伴い、**Youtube**にて動画をアップロードするなど、積極的な姿勢が伺える。今後も多くの方に**PR**できるように努められたい。

補助団体への補助金交付については、審査体制を強化されたい。

歳出の執行については、適正に処理されており、特に指摘事項はなかった。

○ 介護福祉課

入退院のタイミングにおいて、医療機関との連携を図るルール作りに努めているが、在宅サービスの利用が必須となる方にとっては、退院後の安心な生活を保障するものである。今後も継続して努めていただきたい。

また、各地域で高齢者が通える場所作りにも尽力されているが、社会福祉協議会との連携により、コミュニティの形成を図っていただきたい。

歳出の執行については、適正に処理されており、特に指摘事項はなかった。

○ こども課・認定こども園準備室

学童保育事業については、今後は待機者が増える予定。人の手配や施設の拡大等の課題が発生すると見込まれる。特に施設の利用については、学校との連携を密接に図りながら、運用を進めていただきたい。

補助団体への補助金交付については、次年度への繰越額を考慮しながら補助金額の妥当性を検討していただきたい。

歳出の執行については、適正に処理されており、特に指摘事項はなかった。

認定こども園準備室について、西認定こども園について具体的なスケジュールも決定され事業の進捗が伺える。次年度以降のスケジュールはタイトなものとなっているが、遅れのないように努めていただきたい。

歳出の執行については、適正に処理されており、特に指摘事項はなかった。

○ けんこう推進課

昨年度からがん予防推進員が活動していただいている。けんこう推進課だけでは手の届かない詳細な部分のケアをされており、これからの事業効果が期待される。現在、10人とのことであるが、更なる広報の充実に努められたい。

歳出の執行については、適正に処理されており、特に指摘事項はなかった。

○ 北かぐやこども園

勤務形態が混在するため、人材の確保及び教育については今後も懸念される。園運営が順調に行えるように、園内の統制に尽力していただきたい。

歳出の執行については、適正に執行されており、特に指摘事項はなかった。

○ 南保育園

季節ごとの行事や高齢者とのふれあいなど、園児が楽しく過ごせるよう努力されている。今後も保育の充実に向けて研鑽を積まれたい。

歳出の執行については、適正に執行されており、特に指摘事項はなかった。

○ 住民課

昨年の定期監査における意見として、コンビニ交付利用率の向上を挙げたところであるが、今年度においては僅かではあるが改善が見受けられた。

補助団体への補助金交付については、審査体制を厳密にされたい。その他の執行については、適切に執行されており、特に指摘事項はなかった。

事務処理については、課内にてチェック体制を設けて取り組んでいる様子が見受けられた。

○ 保険年金課

前年度から、国民健康保険税の仕組みが変更となったが、問題なく事務執行に取り組んでいただいている。

特定検診の受診率について、県内では悪くない数値となっているが、国の示す目標値である60%に向けて引き続き努力していただきたい。

また、窓口業務が忙しく、実践での技術習得が多くなるが、マニュアル作成といった指導体制においても尽力いただきたい。

歳出の執行については、適正に処理されており、特に指摘事項はなかった。

○ 環境・安全安心課

合葬墓については、現在、生前予約が既に18件あり、これからの時代のニーズを踏まえると必要なものと考えられる。今後の管理運営にしっかりと努めていただきたい。

空家対策についても、空家実態調査に基づいて、展望を企画政策課と連携を図りながら進めることで安心できる環境作りに努めていただきたい。

世間では、防災減災への関心が高まる一方であるが、防災担当課の組織体制が弱いようにも見受けられる。住民のニーズに合わせたサービスを行えるように、今後は考慮されたい。

補助団体への補助金交付については、内容の精査が必要である。その他の歳出については、特に指摘事項はなかった。

○ 都市整備課・用地開発課

予備監査での指摘事項でもあった、事業の遅れや整備方針の決定については、概ね対応されているように見受けられる。各事業単位の年間スケジュールを構築されていることから、事業の遅れについては、特異な事情によるものだと考えられるが、今後も適正な執行管理に努めていただきたい。

また、公園整備については、収益性のある事業展望を描かれているが、不採算事業とならぬよう、しっかりと検討されたい。

歳出の執行については、流用先での流用後の執行残がある科目が幾つか見受けられる。今後は慎重に行うよう努められたい。その他については、適正に処理されており、特に指摘事項はなかった。

○ 地域振興課

農業振興のために、「人・農地プラン」を積極的に展開し、地域住民と協力しながら、農業の衰退抑止と発展に尽力していただきたい。

産業総合振興機構の設立に際し、事業展望と採算性をしっかりと考慮して進められたい。町からの委託事業以外の事業についても開拓できるようしっかりと検討をしていただきたい。

また、職員の時間外勤務時間数が多いように見受けられる。下半期においても、イベントが多く休日出勤が続くとのことであるが、職員の精神衛生面への配慮も図れるようにされたい。

歳出の執行については、適正に処理されており、特に指摘事項はなかった。

- クリーンセンター業務課
操業停止が近くなり、新清掃施設建設までの空白の時期の対応が懸念される。最良策を選択できるよう努めていただきたい。
ゴミ分別アプリについては、登録者が徐々に伸びており利便性が認められているようにみられる。操業停止まで残り僅かではあるが、引き続き尽力いただきたい。
歳出の執行については、適正に処理されており、特に指摘事項はなかった。

- 新清掃施設建設準備課
ごみ処理の広域化及び中継施設の確保に向け努力されている。近隣大字との調整をしっかりと果たしながら、適切に事務を遂行されたい。
歳出の執行については、適正に処理されており、特に指摘事項はなかった。

- 上下水道業務課・施設課
滞納者については、分納していただくように交渉し、適切に進めていただいていると見受けられる。
在庫管理については、1年毎に実施するのではなく、その都度確認できる体制を整えて適切に管理されたい。
また、横領等の事務処理上のリスクに対応できるチェック体制の強化と構築もさらに進められたい。
歳出の執行については、適切に処理されており、特に指摘事項はなかった。

- 教育総務課・学校支援室
各学校での意見として、①中学校へ交付している補助金の額及び内容の精査の徹底 ②予算の計画的執行が挙げられたため、今後指導に努められたい。
今年度は、工事について執行遅れが見受けられたが、費用面及び学校の学習環境面を考慮しながら、適切な事務執行に努められたい。
コミュニティスクールについては、次年度からの移行を想定されており、学校と地域の両者が協働で教育環境をより良くできるよう当事者意識を持てる意識の醸成をお願いしたい。
学力の向上については、指導主事の巡回により英語教育に関する教員への指導を行っていることや、放課後塾を実施され児童の学習時間の確保に努められていると見受けられる。今後も引き続き、学力向上に尽力いただきたい。
歳出の執行については、適正に処理されており、特に指摘事項はなかった。

- 広陵町・香芝市共同中学校給食センター協議会
県補助金を積極的に活用し、献立の充実を図る等の努力が見受けられる。
今後も残食対策に取り組まれない。
また、施設の機器について幾つか修繕箇所が見受けられるが、適切に管理していただくようお願いする。
歳出の執行については、適正に処理されており、特に指摘事項はなかった。

- 生涯学習スポーツ課・中央公民館
昨年に引き続き、見直しが必要な補助団体への補助金交付については、金額の妥当性及び補助金の必要性を考慮していただきたい。
事務処理について、幾つか遅れが見受けられた。今後は適切に執行できるように努めていただきたい。
また、オリンピック聖火リレーについては、町内一丸となれる環境作りにご尽力いただきたい。

- 文化財保存課
3Dモデルデータの掲載に取り組んでいただいているが、海外サイトを経由していることにより、英語表記になるなど活用や閲覧がし難い状態と見受けられる。
補助団体への補助金交付については、繰越額が続く収支予定とならないように気をつけていただきたい。
歳出の執行については、配当誤りが多く見受けられた。計画的且つ適正な執行を心がけていただきたい。

- 図書館
自習スペースの整備により入館者が増える反面、貸出冊数が減少している。滞在時間が延びていることを考慮しつつ、視聴覚資料の導入等により、時代のニーズに沿った運営を見据えられたい。
返却の漏れ等に対するチェック体制も構築されており、引き続き遺漏のないように取り組んでいただきたい。
歳出の執行については、適正に処理されており、特に指摘事項はなかった。

- 各幼稚園
どの幼稚園もアンバランスな年齢構成であり、若手職員の指導体制が整っていない。今後、管理職が続々と定年を迎えることもあり、厳しい状況が続くと思われるが、今後の指導体制についても検討しながら、園運営に尽力い

ただきたい。園運営において、専門職でなくても行える部分については、学校支援ボランティア等の人材を活用する等、学校や地域との連携強化についても努めていただきたい。

歳出の執行については、適正に処理されており、特に指摘事項はなかった。

○ 各小・中学校

学校毎で苦慮されている事案が異なり、各々で課題解決に向けて尽力されていると見受けられる。

新しい教科である「道徳」については効果測定が難しく、教師の力量が問われるものである。これからも研究に尽力いただきたい。

また、コミュニティスクールへの移行についても進められているが、地域との連携に苦慮されているように伺える。積極的に地域との関係性を築けるよう、教育委員会の協力を得ながら適切に進めていただきたい。

歳出の執行については、備品や消耗品において、消費増税前の購入がなされていないことが多かった。

○ 議事課

議会というのは、町民の立場からすると不透明な部分もあると見受けられる。今後は議会中継等の手法の導入を検討されているとのことであるが、費用対効果を勘案しながら取り組まれない。

政務活動費の執行については、引き続き適切に執行されるよう配慮されたい。

歳出の執行については、適正に処理されており、特に指摘事項はなかった。

地方自治法第199条第7項に基づく財政支援団体等監査結果

1 定期監査執行期日及び監査の対象

監査年月日	監査の対象
令和元年10月28日	シルバー人材センター
令和元年11月11日	社会福祉協議会・商工会

2 監査の場所

シルバー人材センター・総合保健福祉会館・商工会

3 監査の範囲

令和元年度の財政援助に係る出納その他の事務執行状況

4 監査の方法

監査の対象とする財政援助団体より提出された監査資料に基づき、経営状況の把握・補助金執行状況及び会計処理上の責任体制は確立されているか等について監査を実施した。

5 監査の結果

(シルバー人材センター)

広陵町シルバー人材センターは、総会員数の約46.2%が75歳以上で構成されており、会員数の減少と併せて高齢化も運営上、懸念される事案である。今後は、サービス内容の見直しを含めて女性会員の増加や民需の掘り起こしに尽力いただきたい。

また、インボイス方式の導入に向けた検討もしっかり進められたい。

昨年同様に、ホームページの作成についても引き続き努力してもらいたい。

(商工会)

平成30年度の決算は赤字であるが、原因としては、福祉活動事業に係る受講者が減ったこと及び空調機器の修繕が発生したことが考えられる。

福祉活動事業に係る資格取得対策のための講座等は国が無償で実施しているものもあり、不採算と考えられるものについては廃止されたり、パート従業員の削減による経営改善努力が見受けられる。

一方、空調機器といった施設の更新については、今後も発生することが想定される。現在は預金の取り崩しによる対応をされているが、今後は対応を

考慮される必要がある。

靴下産業については、若手経営者が新ブランド立上げに対して意欲を燃やすなど新たな販路拡大を模索しており、商工会として地域経済の活性化のため主導的役割を今後も担っていただきたい。

(社会福祉協議会)

地域福祉計画の策定がなされ、社会福祉課との連携をより一層高めながら、地域福祉サービスの向上に努めていただきたい。

民生委員・児童委員の協力体制について、前向きに考慮されているように見受けられる。各家庭の状況は、区・自治会内においても把握が困難な部分もあるが、安否確認等には必要な情報である。地域の課題把握による現状の打開に努めていただきたい。

また、今年度の9月から「総合相談窓口」を設置されているが、今後もPRに努めながら、ボランティア会員数の増加や福祉環境の向上に努められたい。

町の補助金に係る事務執行については、交付目的に即した事業の成果を上げていると思われる。